

## オウム真理教問題対策（状況）について

### 1 現地の状況

信者の居住状況について、関係機関からの情報では、GSハイム烏山（南烏山6-30-19）に「ひかりの輪」信者5名程度が居住している模様である。

### 2 烏山地域オウム真理教対策住民協議会の活動状況

令和2年度の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リサイクルバザーや抗議デモ・学習会など、多くの参加者、来場者が見込まれる事業を中止とした。また、実行委員会も現在のところ開催を見合わせている。

一方で、会長ほか数名の役員で構成される事務局会議は毎月開催し、住民協議会ニュースを4回発行するとともに、地域住民による現地の監視活動も継続して行っている。また、本年1月末が期限であった団体規制法に基づく観察処分に対しては、更新を求める国への要請行動を行い、1月6日、更新が決定されたところである。

令和3年度の活動については、例年4月、5月に実施しているリサイクルバザー、抗議デモ・学習会は、感染症拡大防止のため中止としたが、今後も感染症の状況を注視しながら活動を継続していく予定である。